

平成21年度 第2回 府中市景観賞選考協議会の会議結果について

1 日時 平成21年6月25日(木) 午前9時から午前11時15分

2 場所 市役所北庁舎3階 第1会議室

3 出席者

(1) 景観賞選考協議会委員

亀山 章	出席
小林 清秀	出席
杉崎 則夫	出席
千賀 裕太郎	出席
高谷 時彦	出席
竹内 章	出席
田中 友章	出席
並木 三郎	出席

(2) 事務局出席者

岡野都市整備部次長

計画課 青木課長

〃 楠本副主幹

〃 角倉主査

〃 関戸技術職員

〃 山田技術職員

〃 曾田技術職員

(3) 傍聴者

なし

4 会議内容(審議結果)

(1) 日程第1「平成21年度第1回景観賞選考協議会の会議録の確認について」は、会議録の内容の確認を行った。

(2) 日程第2「第一次選考について」は、次のような意見があった。

主な意見

ア 応募された景観を部門分けしたが、数に偏りがある。

イ 同じ景観はまとめる必要がある。

- ウ タイトルを変更した方が良いものもある。
- エ 応募理由や写真が無く応募されたものは、評価が難しい。
- オ 保全活動などは積極的に活動を行っているか過程がわからない。
- カ 一次選考の資料のまとめ方は、総合評価の平均点が高いものから順位をつけている。要素の評価は特徴を捉えるものなので、参考程度とする。
- キ 総合評価だけでは判断ができないものもあるため、要素の評価も吟味した方が良い。
- ク 応募者の中には、写真コンテストや建築コンテストと勘違いしている人もいる。
- ケ 公開選考及び第二次選考へ各部門10点ずつ選出すると評価が低いものも含まれる。そのため、総合評価の平均点が何点以上とするなどアンダーラインを統一または調整して選出する必要がある。
- コ 応募者は部門のことは関係なく多数応募しているため、公開選考や第二次選考の対象から外れた景観の中から、審査員賞として幅広く顕彰する必要がある。
- サ 公開選考について
 - (ア) 部門分けはせずに、54箇所の景観から府中市の景観形成に寄与していると思われるものに投票してもらう。
 - (イ) 1人に対し10枚が1組になっているシールを配布し、府中市の景観形成に寄与していると思われるものにシールを貼ってもらう。
 - (ウ) 写真だけで判断されてしまうため、説明した後にシールを配布し貼ってもらう。
 - (エ) 活動等内容がわかるような資料も追加する。
 - (オ) 公開選考の対象となった景観の所有者等及び推薦者に対し、対象となったことを通知し、周知する。
 - (カ) 景観審議会委員に公開選考の実施について周知する。
- シ 現地踏査は、7月下旬から8月上旬に2、3班に分かれ行う。
- ス 市民選考、現地踏査を踏まえ第二次選考を行い、各部門顕彰する景観を決定する。
- セ 顕彰式では、所有者、活動を行っている方を顕彰し、推薦者（応募者）には参加賞等を与える。